



かわさき

6月の家族読書カードから【次回は7/12】

題名：あかすきん
1年 きつた ゆい

おおかみが こわかったです。

【母】前半がゆい、後半が母、分けて読みました。気持ちをこめて読むことができるようになっていました。何度読んでも楽しめる名作だと思いました。

題名：おひさまいろの きもの
2年 すげの こと

ふうちゃんが 目の見えないびょうきになってしまい かわいそうでした。

【祖父】ふうちゃんは、がんばって布をおりました。着物はおまつりに間に合いました。ふうちゃんには、おかあさんの作ってくれた着物は「おひさま色」に見えたのでしょうか。

題名：はだかの王さま
3年 齋藤 逞登

王さまが、はだかで歩いているが、はずかしくないのかな。

【母】後にひけなくなった王様のガンコな姿は、やった手前、言った手前、ひけなくなった人とかぶる所があるなと思いました。

題名：まじよのナニーさん
にじのむこうへおつれします
4年 氏家ひより

マユはお母さんと生まれてくる赤ちゃんのために、お気に入りのヘアピンをわたしたのでやさしい心の子だと思いました。そのおかげで、お守りを作ってもらってよかったと思いました。そのお守りに文字を書くとき、ナニーさんが「心をこめれば、それが一番ききめがある。」と言って、マユが一生けんめい書いて、心がこもっていると思います。

【母】「生まれてくる前の子供たちはみんな、どの家の子供になろうかと考えて、生まれる家を決めている。」と書かれていて、娘もそうだったのかな…と何だかうれしくなりました。

題名：石けんのひみつ
5年 安齋あかり

固体石けんやえきたいせっけんのことがかかってよかったです。うちは固体石けん派なので、液体石けん（ボディソープ）も使いたいです。

【祖母】私の石けんといえば、ソフトボールの時に使っているズボンの洗濯です。ヒットを打てるように、ホームランを打てるようにと願いながら手で、ゴシゴシと洗っています。

題名：ふんわり 王女
6年 安齋 水俣

感情のない王女でしたが、王子との愛で、魔法がとけ、王子と結こんもできてよかったなと思いました。

【母】呪いをかけられる部分が、昔からあるおとぎ話に通じる部分であり、懐かしい気持ちになりました。いつの時代も「愛情」は「悪」に勝るすばらしいものだということ表現する部分は普遍的なんだと感じ、やさしい気持ちになりました。

